

**令和3年度第2回鶴見岳・伽藍岳火山防災協議会幹事会・
第1回九重山火山防災協議会幹事会（議事要旨）**

1. 日時

令和3年10月4日（月）14:00～16:00

2. 場所

別府ビーコンプラザ2階レセプションホール

3. 出席者

別添名簿のとおり

4. 議事

- (1) 鶴見岳・伽藍岳火山避難計画（案）について
- (2) 報告事項等
 - ・九重山火山防災訓練について
 - ・今後の検討予定について
 - ・鶴見岳・伽藍岳、九重山の活動概要等について

5. 議事要旨

- 事務局（県防災対策企画課）から、第1回鶴見岳・伽藍岳火山防災協議会幹事会結果（7月2日開催）、第2回意見照会結果（8月6日実施）を踏まえ修正した鶴見岳・伽藍岳火山避難計画の（案）について説明し、出席委員から了承を得た。
 今後、第1回目幹事会と同様に、本会議の結果をホームページに掲載し、県民から寄せられた意見を踏まえ作業を行う。また、12月に開催する協議会までに、避難対象者数及び避難行動要支援者数を最新のデータに修正する。

No	第1回鶴見岳・伽藍岳火山防災協議会幹事会 （7月2日開催）議事要旨	具体的な対応
1	素案では、開設避難所候補となる避難所の想定収容人数について、新型コロナウイルス感染症を考慮し算定したことから避難対象者全員を避難所で受け入れることができないため、さらに避難者を受け入れることができるよう、開設避難所候補について、再検討することとしたい。	避難対象である別府市との位置関係や広域避難路、受入可能な避難所等を考慮し、今回新たに中津市、臼杵市、杵築市にもご協力いただくように調整。加えて、宇佐市、由布市の避難所も見直すことで、避難者を受け入れることができるように調整。
2	噴火警戒レベル4以上に相当するような溶岩が流れ出る噴火は約7,300年以上発生してはいるが、6万8,000人に影響を及ぼすおそれがある火山は例がなく、鶴見岳・伽藍岳の避難について、その深刻さが伝わるような形で前文を作成してほしい。	ご指摘を踏まえ、計画5頁の前文を修正。
3	避難対象区域の境界の外ではあるが境界近くに位置する別府市役所が、噴火警戒レベル4、5の時にどのように対応をされるのか、噴火警戒レベル3の段階でも市役所の機能を安全な場所に移設することを含め対応を検討してほしい。	別府市の災害対策本部の移設について、噴火警戒レベル4及び5に追記するとともに、噴火警戒レベルが引き上げられた時の対応の一つとして、防災体制（設置場所含む）や避難対象区域等を協議する旨、加筆。

4	<p>自動車で避難できない避難者を想定し、避難経由地（一時集結地）を設定し避難先を振り分けることとしている。また、避難の長期化に備えて保健活動チームの派遣を行い、公衆衛生ニーズを把握するとしている。これらの点について、業務内容や体制を検討してほしい。</p>	<p>広域避難の具体的なイメージを計画63頁に追加。具体的なオペレーションは、計画策定後、引き続き関係自治体と協議。</p>
5	<p>海が使える別府の特徴をいかして、海域利用、船舶等の活用などについて記載してほしい。</p>	<p>噴火警戒レベル5のような事案の場合、国との連携が重要だと考えており、計画25頁に「合同会議等」を追記し、併せて計画64頁に船舶の活用に関して追記。</p>

- 事務局が、令和3年度九重山火山防災訓練と今後の予定について説明した。

<各委員等よりいただいた意見は下記のとおり>

- ・訓練を通じて通信状況が不良だった地域においては具体的な通信手段を検討してほしい。

- 気象庁が、鶴見岳・伽藍岳及び九重山の活動概要等について説明した。

以上